

長野県上田市の

腹話術師「ヒロ・タツキー」が

レインボー学園などで技を披露



子供人形「コタッキー」に大喜びのレインボー学園生徒

上田市在住のヒロ・タツキー(本名・滝沢博文氏)が七月二十四日にハワイへ。その日の夜、ワイキキのホテルでのビジネスセミナーの余興として出演、翌日にはワイキキのヨットクラブでのハワイ・シニア・ライフ協会のランチオンミーティングに出演、三日目の二十六日(土)には、日本人駐在員女を中心に構成されているハワイ日本人学校(通称・レインボー

学園、幼稚園から中学三年

まで)の生徒三百五十名の

参加を下に、その技を披露、

笑いと大拍手を受けた。

滝沢さんは、昨年二十七年間務めた会社を早期退職し、現在は社会保険労務士、一九九一年に腹話術の講座を受けたことをきっかけに

腹話術を学び、数年前からは趣味から特技として芸を高める中、ボランティア活動で各地の福祉施設、保

育園、敬老会、子供会、各種イベントで活躍中。二〇〇五年には、アメリカ・ケンタッキーで開催されている世界各国のプロアマが参加する(ベントヘブン・コンベンション)に初参加、今年二度目の参加の帰途、ハワイに立ち寄ったもの。

滝沢さんは「ハワイは十一年前に社員旅行で一度来ただけで全く知り合いがありませんでした。ケンタッキーの帰りハワイに立ち寄るスケジュールを立てた時、日系の皆様の前で演技したいと思い、(ハワイの新聞)で検索、地元で三十二年間日本語新聞を発行しているイーストウエストジャーナル社を見つけ、私の意図を伝えましたところ、滞在四日のうち、三か所での公演を実現させていただきました。皆さん、目の前で腹話術を見た事が初めてだと、大変喜んでいただき、多くの方々を知り合いになることが出来ました。新聞社の方、また、ハワイ・シニア・ライフ協会の坂井諒三会長、日本人学校の桑原玄治校長、ありがとうございます」と語った。



ハワイシニアライフ協会のランチオンミーティングに出演



ビジネスセミナーの余興で熱演するヒロ・タツキー

と語った。